

フォトニュース

観光ボランティア発表会で奨励賞受賞



▲2月25日、兵庫県中央労働センターで「第3回ひょうご観光ボランティア発表会」が開催されました。本町からは9人のガイドが参加し、約200人の参加者に、田中節子さんが代表として多田銀銅山や木喰仏のガイドツアーについて疑似体験の形式で発表し、親切丁寧なガイド内容、観光資源としての貴重さなどが評価され、見事奨励賞を受賞されました。

南田原自治会で住宅用火災警報器を設置



▲南田原自治会では、地元消防団員が中心となって、住宅用火災警報器の共同購入を行い、地区内の各世帯に住宅用火災警報器を設置しました。その結果、90%以上の世帯で設置が完了しました。南田原分団長は、「住宅火災による死者をなくし、地域の皆さんに安心して暮らしてもらうため、こういった取り組みを行いました。」と話されました。

親子で陶芸体験



▲3月7日、子育て支援センターで「ふれあいあそびと親子陶芸」が行われました。ふれあいあそびを楽しんだ後、子ども達は自由な発想で、個性豊かな陶芸作品を仕上げました。日曜日の開催でしたので、家族での参加も多く、賑やかなひとときとなりました。

いな が わ 歴史ウォーク ⑧4

村の運営

江戸時代の猪名川町域は、銀山町と銀山付村々としておむね幕府領で、時代により一部が藩領でした。

村々では「村役人(庄屋・年寄・百姓代)」が村の行政を担当、多田院御家人の血筋の者が多く、庄屋も世襲が主でしたが、村によっては交代制をとるころもありました。

町域の村々は小村が多かったため、数か村が集まって「組」を形成し、その結束と連帯で、幕府に対する請願や、各種の争論の解決などを行っていました。

「組」には最も歴史の古い親村の名を付けて組庄屋が統率し、北から

▲組合村々の儉約村定



清水組(7か村)・木津組(5か村)・阿古谷組(一庫村)現川西市を含む4か村)・紫合組(7か村)・広根組(銀山町や芋生村)現川西市を含む10か村)の5組がありました。

人権・同和教育研究大会を開催



▲2月14日、文化体育館で、「第39回猪名川町人権・同和教育研究大会」が開催されました。基調講演では、天理大学の富田愼さんを招き「未来への絆をつなぐ同和教育」と題した講演が行われ、約200人が参加しました。また、午後からは、文化体育館と中央公民館で、人権教育・啓発の実践発表が行われ、人権について、改めて考える一日となりました。

青空の下、健脚を競う



▲2月21日、好天のもと1,100人が参加し、2010猪名川町彫刻の道マラソン大会が行われました。町マスコットキャラクター「いなぼう」が声援を送る中、ランナー達は各種目ごとに健脚を競いました。

▼もちつき大会の絵を描きました。カ一杯、おもちをつきました。あそふ 麻生 大地くん(年少)



松尾台幼稚園



▲絵本「エルマーのぼうけん」の絵を描きました。エルマーがトラにガムを渡しているよ！おぼせ 小長谷 拓矢くん(年長)

▲絵本「めっきらもっきらどおんどん」の登場人物、もんもんびやっこを描きました。しもむら 下村 松太郎くん(年少)

▼大きな大きなおいもをほりました。とっても嬉しかったです！寺田 成雅くん(年長)

